

ティーチング・ステートメント

所属 保健医療学部義肢装具学科

名前 野坂 利也

作成日 2024年2月26日

【責任】

義肢装具学科に所属し専門科目である義肢学を中心とした教育・研究活動を行っている。主たる教育活動は大腿義足関連科目（ソケット、継手など）と歩行を中心とした人の動作を工学的に解析する科目を担当しており、大学院では義肢装具関連科目担当、ゼミ生の研究支援、職能団体の日本義肢装具士協会では、臨床実習指導者講習会の企画、運営と大腿義足分野の専門コースの企画、講師を行っている。

【理念】

学生には義肢装具の奥深さや面白さを知ってもらい、義肢装具分野でのプロフェッショナルな仕事に生きがいを感じ、社会で活躍できる人材になってもらいたい。基礎力を身に付け、実際の切断者モデルの義足の設計、製作、適合評価を体験することで、個別の患者さんのニーズに対応できる実践力を養う。個々の切断者モデルで経験した成功体験を生かし、率先的な問題意識とその解決策を考える力を養う教育を行いたい。

社会の中でのルールを大切にしながら、他の医療関係業種、患者さんとの協働性を高められる人材を養成していきたい。

多くの卒業生が、国内外の大学院に進学しており、卒業生との交流を通じて、志の高い人材の養成を行っていききたい。

日本の義肢装具士養成教育の量・質の担保として、学内教育だけでなく、学外実習である臨床実習のバイザーへの啓蒙、教育を行っていききたい。

職能団体である日本義肢装具士協会での生涯教育の延長線にでもある専門制度確立に繋がる大腿義足分野での専門教育システムの構築と教育を行っていききたい。

【方針・方法】

上記の理念を実現するために、確実に基礎力を身に付け、学生自らが直面した問題の解決を通じて実践力を身に付けるといった教育を行っている。

方針1 「基礎力を養う」

方法1 体系的な講義内容に努め、重要な内容は小テストを繰り返すことで、知識の定着を図っている。小テストは、合格ラインに達するまで繰り返し試験を実施している。

方針2 「実践力を養う」

方法1 運動学等で紹介されている歩行動作などを自分たちが実際のモデルとなり、計測、分析、考察といった研究の流れに沿ってグループワークさせ、成果はグループごとにPPTで発表させている。

方法2 実際の切断者モデルに対するデモンストレーションでの採型、製作、適合評価を講義・実演した後、個々の学生が切断者モデルにマンツーマンで採型、製作、適合評価まで行い、最終的には完成した義足のプレゼンテーションによる説明、レポートによる報告書の提出を行わせている。

方法3 実際の切断者モデルに異なるパーツ使用時の歩行分析を実施し、学生個々にグラフ化、考察をしてもらい、教科書、論文で報告されている特徴との比較検討をさせている。

方針3 「社会のルールの順守」

方法1 決められた時間までの出席、レポート提出日の厳守の大切さを説き、身に付けさせている。

方法2 切断者モデルの都合に合わせて、土曜日を中心に採型・適合スケジュールが設定されているので、それに合わせて各自のスケジュール管理をさせている。

方針4 「協働性を高める」

方法1 グループ内でのディスカッション、プレゼンテーションを通じて他との共同作業

を行っている。

方針5 「義肢装具分野で活躍しているOBとの交流」

方法1 不定期な開催ではあるが、海外の大学院に進学したOBや客員教授をお招きし、講演会、交流会を開催し、日本・海外の義肢装具分野の教育、臨床をお話いただき、志を高く持てるような機会を与えている。

方針6 「臨床実習指導者講習会の企画・運営」

方法1 職能団体である日本義肢装具士協会が主催する臨床実習指導者講習会でバイザーに対して臨床実習の目的、評価方法、学生へのフィードバック方法、ハラスメントに関する事項などグループワークするための企画・運営や講師を行う。

方針7 「日本義肢装具士協会における大腿義足分野での専門教育」

方法1 職能団体である日本義肢装具士協会における質の高い専門性を担保できるような大腿義足分野の専門コースの構築と講師を行っていく。

【成果・評価】

- ・4年生全員、最低ゼミ生全員の国家試験自己採点での合格レベルまで底上げを行う。
- ・授業評価アンケートでのある程度満足以上の回答率向上だけでなく、卒業生から就職後にどのように授業改善が必要であったかのフィードバックをする。
- ・臨床実習指導者講習会の企画運営と講師をする。
- ・大腿義足分野における専門教育制度の構築と実施を行う。

【目標】

短期目標

- ・義肢装具分野だけに留まらず各種研修会に参加し、学生や他の教員に還元できそうな知識・スキルを学び、学科内で共有する。(2024年度)
- ・職能団体で企画している臨床実習指導者講習会の実施をする。(2024年度)
- ・即納団体で企画している専門教育制度の実施をする。(2025年度)

長期目標

- ・多くの卒業生が義肢装具分野の臨床、研究で活躍する。